

久喜市議会議員 宮崎あきの

あつき～通信 第15号

《活動報告》

eメール aki@aki-m.net 【公式ホームページ】▶

X @miyazaki_aki_ facebook ページ 宮崎あき |Q| で検索。



発行: 希望 (久喜市議会 無会派名)

『久喜で生きる』を支えたい。

新ごみ処理施設の経費36億増!

「豪華にぎわい機能」の見直しなど、コスト削減の検討はせず!

現在の久喜市は財政難ですが・・・今度は建設中の“新たなごみ処理施設”に「**契約後に生じた物価高騰分**」として、**36.8億円もの費用が追加**される事が分かりました。(期間は令和6～10年度)

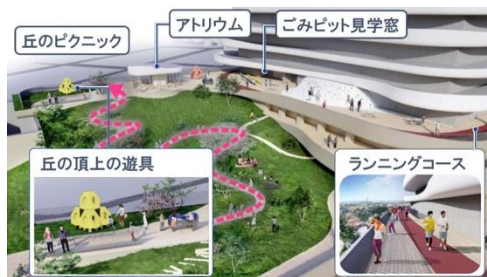
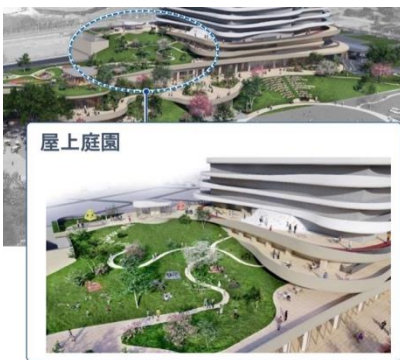
言うまでもなく、元の金額が大きいと物価高騰の影響大です。令和4年時点で、すでに物価上昇の傾向はあったことから、物価高騰の可能性を想定しておくべきでした。(元々の整備費 **約277億→約314億**に増額)

私は議会で「今回これだけの増額があった。物価高騰分を単に増額するだけでなく、豪華な付帯設備(にぎわい機能)を減らす検討はしたのか?」と質疑しましたが、市は「**検討していない**」とのこと。



建設中の新たなごみ処理施設

↓ **ごみ処理機能とは関係のない、25億円もの「にぎわい機能」の内容**



ランニングコースは、公園にも作るのですが・・・

「屋上庭園」や「ランニングコース」だけでなく、「煙突は光る仕様」となっており、市長はテレビ番組の取材に対し“東京スカイツリー的に色を変える”と発言しています。これらにかかる予算は、**約25億円**です。

さらに、(にぎわい機能を含む)ごみ処理施設とは別に、付帯施設として余熱利用施設・公園の建設が**約130億円**の予算で予定されています。

市は、これらの機能を『どれ一つ欠かすことができない』



私は『請負契約書では、“設計の変更も可能”である旨も書かれているため、25億円もの豪華なにぎわい機能の内容を見直すこと』を要望し「市民の感情を考えると、どうしても理解が出来ない」と議案に反対しました。

※この増額は、あくまでも令和5年10月を基準としたもので、今後も更に増額となる可能性があります。また、建設費が当初の予算より大幅に増加するならば、他でコスト削減をして、少しでも増額幅を抑えるべきです。しかし、市はそのような検討すらしていません。

「東町集会所」市長が方針を転換！

令和6年2月議会から取り上げ、反対をしている「令和8年度 東町集会所除却」問題。市民から市長へ3000名以上の除却反対の署名が提出され、10月に“市長と市民の話し合い”が行われ、市長が「**東町集会所は存続する**」と方針転換しました！

【市長が、市民と約束した内容】

- ・「東町集会所」の名称は廃止する。
- ・久喜東コミセンの分室として有料化し、大規模修繕が必要なほど老朽化するまで市が管理する。
- ・（一度、除却は議決されているため）個別施設計画検討委員会や市議会議員の皆様にご理解いただけるよう丁寧に説明していく。

上記内容は一般質問でも確認が取れ、市長は「できる限り速やかに説明をして、市民の皆様の要望通りの内容で合意が図れるよう努力する」と発言。

除却反対の区長さん達・利用団体・署名された皆さんが、訴え続けた声が届いて良かったです。



振り込め詐欺被害防止放送の改善を

振り込め詐欺の被害は年々増え、**電話による詐欺が増加中**です。しかし、久喜市の防災無線の注意喚起は2つの定型文のみ。警察からの情報は別の内容である事も多いため、議会で改善を提案しました！

防災無線は聞き慣れてしまう事も多いです。他の自治体のように地区名や詳細を放送した方が印象に残ると考えます。市からは「最近の特殊詐欺は手法や手口が多岐にわたるため、改めて警察と協議し内容を検討する」「**安全・安心情報メール**」の発信で、詳細を加える対応もしていきたい」と答弁がありました。

※久喜市では防災無線が聞こえにくい対策も踏まえ、以下のメールを配信しています。最新の詐欺情報を知るためにも是非ご登録ください！下記アドレスに空のメールを送信し、指示通りに進むと登録できます。

防災行政無線情報メール

kuki.bousai@mpme.jp



安全・安心情報メール

kuki.anzen@mpme.jp



**詐欺
注意!**

立体通路は5億円→8億円！

私が設置反対をしている、東鷲宮の「高額の立体通路」は、通路に繋がる公共施設が30年間の定期借地契約のため、立体通路も30年後には撤去を想定しておく必要があります。

・立体通路の整備費	約5億円
・30年間の維持管理や更新費	約9,500万円
・30年後の撤去費用	約2億円

こうした前提のもと、**立体通路の総費用は「トータル8億円を超える」**ことが判明しました。また、エレベーター、エスカレーター、広場のシェルターなどの入札が不調となり、休工しています。本来は令和6年秋に完了予定のはずが、完成は大幅に遅れます。

突然、各コミセンの利用制限が二転三転？

財政難を受けて、9月議会で「令和7年10月から各コミセンの休館日を増やす」という市の考えが説明されました。11月議会で取り上げたところ、市は「利用者から“毎週休館することはやめてほしい”などの意見があり、方針を見直す方向で検討することにした」と答弁しました。

休館日を変更しない方向になったことは良かったですが、そもそもコミセンの休館日を増やす考えは「働き方改革を念頭に置いて、市が独自に提案した内容」とのこと。市は、**市民活動が低下する事は重視していない**ことが明らかです。

令和7年度の予算編成に向けた事業見直しはこの休館日の他にも多数ありますが「今後市民から、反対の意見が出たら見直すの？」という問いに、市は「内容によっては見直すものも・・・」と。



後から、市民の反対意見が出てきたため見直すならば、決定して議会に報告する前に**市民第一でアンケート等を取るべき**と考えます！

宮崎あき プロフィール

1978年10月30日生まれ 久喜市出身 A型

2016年～ 埼玉県内の様々な介護施設で5年以上勤務
2022年 久喜市議会議員選挙に初出馬し当選

- 資格 ● 介護福祉士／介護予防指導士／栄養士
認知症介助士／ランニングアドバイザー
- 趣味 ● ランニング、パンダ鑑賞とグッズ収集

※活動報告を全戸にお届けすることが難しいため、前号はホームページからご覧いただくか、ご連絡ください。